

# 令和6年度 自己評価および学校関係者評価書

令和7年2月27日  
函館市立神山小学校

## 1 本年度の重点教育目標

進んで考え たくましくやりぬく子  
～最後までやりぬく活動を通して、自主性と心身のたくましさを育む～

## 2 本年度の取組の重点

【施策1】学力向上……①「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善  
②ICTの効果的な活用  
【施策2】豊かな心……③道徳科の授業の充実  
④不登校児童に対する支援  
【施策3】健やかな体…⑤食育の充実や体力向上を図る取組の充実  
【施策4】業務改善……⑥教職員における業務改善の一層の推進  
【施策5】地域連携……⑦学校運営協議会（CS）を核とした地域と連携した取組の推進

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
施策1	①基礎・基本の定着を図る学習指導や授業改善を進めることができたか。	b	全国学力・学習状況調査の分析をもとに、児童の課題を全教職員で共有し、改善すべき点について重点的に取り組んでいく。	A	A	
	②一人一台端末を効果的に活用した授業実践を進めることができたか。	a	日常的な活用を継続するとともに、教師のスキルアップを図るための研修を行う。	A	A	・ICTは教科によって効果も大きく違ってくると思う。
施策2	③心に響く道徳科の授業実践を通して、いじめの未然防止や子供に寄り添う教育実践を行うことができたか。	a	「いじめは絶対に許されない」という基本認識のもと、未然防止と早期発見・早期対応を組織的に組むとともに、道徳科の授業実践について研修を行う。	B	B	・登園に関係者がおり、お子さんのことで大変悩まれている。当該児童やその他の児童へ寄り添った対応が必要なのではないかと感じている。 ・子供に対する外部講師による講義などを検討してみてもどうか。
	④不登校児童に対するそれぞれの教育的ニーズの把握に努め、適切な対応や取組を推進することができたか。	a	子ども支援委員会、不登校コーディネーターを中心に、個別のニーズに応じた支援を検討し、丁寧かつ迅速な対応を組織的に取り組んでいく。	A	A	・学校生活とはまた違う一面が見られる児童館としても、何かあれば情報を発信し共有したいと思う。
施策3	⑤食育や、体力向上に向けた取組を工夫し進めることができたか。	b	食に関する指導や保健指導、外部講師による授業、食育日より、保健だよりを通して、健康への関心を高めていく。	A	A	・食育は今後ますます大変になってくと思います。
施策4	⑥学校における業務改善に向けた取り組みを進めることができたか。	b	通常業務や学校行事の見直しや日課表の変更などを行い、授業準備等の時間の確保に取り組んだ。次年度に向けて指導体制を抜本的に見直し、授業の質の維持・向上につなげていく。	A	A	
施策5	⑦CSへの理解を深めるとともに、地域や幼保小中の連携をさらに深めることができたか。	a	地域や中学校との連携により、学習意欲の向上を図る取組を推進することができた。幼稚園や児童館と情報交換等を進め、指導に生かしていく必要がある。	A	A	

### ■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

### ■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。